

年末年始の聖書黙想

永遠の契約の血による羊の大牧者、
わたしたちの主イエスを、
死者の中から引き上げられた平和の神が、
御心に適うことを
イエス・キリストによってわたしたちにしてくださり、
御心を行うために、
すべての良いものをあなたがたに備えてくださるように。
栄光が世々限りなくキリストにありますように、
アーメン。

ヘブライ人への手紙 13 章 20 節～21 節

日本基督教団 洗足教会

人間はもともと、時間にせかされるのではなく、
時間を贈られた存在なのだ。(ホルスト・ヴァーゲンフェール)

一年を総括し新年を迎えるというのは、
時間を与えてくださる神からの問いかけに耳を澄ませることでしょう。
それは、

「あなたの目の前にある 365 日、
8760 時間、525,600 分をあなたはどうか生かしますか」という問いと共に

神の前に立たされることになります。

さらにそれは、三位一体なる神、主の恵みにあつて、今日という現在を
神の国の一切の良きものを先取って味わうことを許す神に希望を置くこ
とになります。

「過去は神の憐れみに、現在は我々の誠実に、将来は神の摂理に委ねる
べきである」(サン・フランソワ・サル、17 世紀、フランス説教家)

「わたしたちには、ただ狭く、
時にはやっと見出せる道だけが残されている。
毎日、それが最後の、しかし、また大きな未来があるかのように、
信仰と責任をもって生きていくべき道だけが。」

(ディートリッヒ・ボンヘッファー)

○教会の祈り

全能なる神よ、正義と憐れみとをもってこの国を治めてください。
あなたのもので、すべてのものがあなたと共にある喜びを知り、
あなたの救いの喜びをも味わせてください。

主イエスの御名によって アーメン。

第一日 12月27日（月）

「主よ、あなたの道をお教えてください。

わたしはあなたのまことの中を歩みます。御名を畏れ敬うことができるように、一筋の心をわたしにお与えください。」詩編 86:11

「主よ、わたしの胸が思い煩いに占められたとき、

あなたの慰めが、わたしの魂の楽しみとなりました。」詩編 94:19

「わたしは人生の務めに落胆し、人生の重荷に心は疲れ果て、失敗や恐れを恥じ、道端にうずくまっています。しかしそれでもあなたのことを思い起こさせてください。そうすれば私の中に新しい泉が湧き出すのです。」

「困窮の日にあなたを仰ぎ見ます」（サムエル・ロングフェロー）

わたしたちは神によって、それぞれ心にかけていただき大切にされている、かけがえのない愛の対象なのです。

神がわたしたち一人ひとりを見分けていてくださるからこそ、

わたしたちもついには、主イエスにあって神の家族として神と出会うことができるのです。

○教会の祈り

恵み深い天の父よ、

何十億人という多くの人へ向かうあなたの愛から、このわたしという人間がどのようにして選び出され得るのか、わたしにはわかりません。けれどもわたしに必要なのはあなたの業を理解することではなく、その事実を受け入れることなのです。主イエス・キリストにあって、あなたの子どもとされた事実を受け入れることで、あなたの愛を理解し得る幸いを覚えます。

主イエスの御名によって、アーメン。



第二日 12月28日(火)

「さて、わたしたちには、もろもろの天を通過された偉大な大祭司、神の子イエスが与えられているのですから、わたしたちの公に言い表している信仰をしっかりと保とうではありませんか。

この大祭司は、わたしたちの弱さに同情できない方ではなく、罪を犯されなかったが、あらゆる点において、わたしたちと同様に試練に遭われたのです。

だから、憐れみを受け、恵みにあずかって、時宜にかなった助けをいただくために、大胆に恵みの座に近づこうではありませんか。」

ヘブライ人への手紙 4章14節～16節

神さまの愛と力による過去の良きわざの数々を心に刻み、主の恵みに支えられて、今、この場所に私たちが存在することを想起する人—わたしから離れない愛よ、わたしの疲れた魂はあなたのもとで安らぎます—は、心に湧き出る美しい言葉の持ち主、詩人なのです。

○教会の祈り

あなたの重荷を主にゆだねよ、主はあなたを支えてくださる。

主は、従う者を支え、

とこしえに動揺しないように計らってください。 詩 55:23

天の父なる神よ、

裏切られたり抑圧されていると感じた時、力を振り絞ってそこから逃れようとするのではなく、あなたに重荷を委ね、わたしに必要な平安と新しい生き方とを見いだせるあなたの許へ導いてください。

主イエスの御名によって、アーメン。

第三日 12月29日(水)

「およそ鍛錬というものは、当座は喜ばしいものではなく、悲しいものと思われるのですが、後になるとそれで鍛え上げられた人々に、義という平和に満ちた実を結ばせるのです。」ヘブライ人への手紙12章11節
教会の信じる主イエスの父なる神よ、

父なる神の御名によって、御子イエス・キリストの名によって、真理の御霊なる聖霊の名によって、わたしをあなたの国の世継ぎとしてくださりありがとうございます。

礼拝において御言葉と聖餐という姿で教会と共におられるあなたを食することによって、キリストにまで成長させていただきたい。

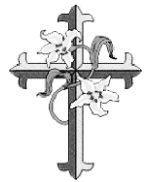
主よ、あなたの慈しみが、我らの上にあるように、
主を待ち望む我らの上に。

神さま、

あなたに従うための、

わたしたちの鍛錬の上に、祝福をお与えください。

(「神の子は戦いに向かわれる」レジナルド・ヒーバー)



○教会の祈り

天の父なる神よ、わたしには、あなたの慰めが必要です。

悪しき者に支配される世界がどれほど危険に見えても、

わたしたちの心の不安がどれほど私たちに打ちのめそうとも、

神にはわたしたちの心の不安を溶かし、危険を追い散らす力があります。

主よ、この世界を創造し、今も贖ってくださるあなたに、

わたしの人生もしっかり包まれていることが分かるのです。

主イエスの御名によって、アーメン。

第四日 12月30日(木)

「喜び祝う声を聞かせてください

あなたによって砕かれたこの骨が喜び躍るように。

わたしの罪に御顔を向けず、咎をことごとくぬぐってください。

神よ、わたしの内に清い心を創造し、新しく確かな霊を授けてください。

御前からわたしを退けず、あなたの聖なる霊を取り上げないでください。

御救いの喜びを再びわたしに味わわせ、自由の霊によって支えてください。

わたしはあなたの道を教えます

あなたに背いている者に、罪人が御もとに立ち帰るように。

神よ、わたしの救いの神よ、流血の災いからわたしを救い出してください。

恵みの御業をこの舌は喜び歌います。主よ、わたしの唇を開いてください。

この口はあなたの賛美を歌います。」詩編 51:10-18

わたしたちの信仰の歩みは、一步一步記された「旅の記録」として位置づけられるのです。

神は、わたしたちが最善を目指して試行錯誤している時、躓いたからと言ってわたしたちを見捨てたりはなさいません。

それによって、わたしたちはたじろがずに歩くことができるのです。

長く生きて行く間に、心に賛美の対象となるような出来事も増してきます。その一つ一つの事実をもとに、感謝の気持ちがつづられ、説得力に溢れた賛美の歌となるのです。

○教会の祈り

主よ、わたしの人生に年月が加えられるのに従って、あなたに適切に導かれ救われたという素晴らしい配慮と、証しや賛美をする準備の整った舌をわたしに与えてください。主イエスの御名によって、アーメン。

メモ

第五日 12月31日(金)



「主は人の一步一步を定め、
御旨にかなう道を備えてくださる。」詩編 37:23

「わたしが老いて白髪になっても、神よ、どうか捨て去らないでください。
御腕の業を、
力強い御業を来たるべき世代に語り伝えさせてください。」詩編 71:18

「イエス・キリストは、きのうも今日も、また永遠に変わることはない
方です。」ヘブライ人への手紙 13章 8節

「あなたの平安が天上の静けさをわたしに向け、わたしの不安な気持ち
に平安をもたらしてください。あなたのみずみずしいのちの水
が、わたしのためらいがちな思いを力づけるように傍らを流れます。
あなたの存在がわたしの孤独を満たし、あなたのご計画はすべてを良
い結果へと導いてくださいます」

(「すべてを満たしてくださる神」サムエル・ロングフェロー)

○教会の祈り

「主よ、あなたはわたしの嘆きを数えられたはずです。
あなたの記録に、それが載っているではありませんか。
あなたの皮袋にわたしの涙を蓄えてください。」詩編 56:9

神はわたしたちの苦しみに無関心なのではありません。
喜びの内に信仰の眼差しをあなたに向けられるよう、
わたしの肩から重荷をおろしてください。
主イエスの御名によって、アーメン。

第六日 1月1日(土)

「われわれこの歳末においてイエスが真の王である、わが主、わが神であるということ認めて、…どうぞもっとイエスに委せるようにしたい。…何故われわれは魂の上において今日かくのごとくむさくるしいものであるか、なぜもっと振るわないか。…あまりイエスを見くびるからである。もしわれわれが真にイエスを見上げ、これを信じて、身も魂も献げて、主の事業に真に乗り掛けるならば、イエスの事業にも何もかも入れ込むならば、その時こそ真に富むのである。…。今日は違った喜ばしい光り輝くところの心になれるのである。…イエスは大きいなる富と力と自由とをもち手を広げて待って居られる。」（「神と共に新しい年を」植村正久）

「主イエスの十字架のもとに、わたしは喜んで立っていたい。

そこはわたしにとって、疲れた土地にある大きな岩の陰、荒れ野の中の家、一日の重荷を負い、焼けるような日差しを歩む途中の休息」

（「イエスの十字架のもとで」 エリザベス・C・クレフェイン）

○教会の祈り

わたしたちは広い場所が必要です。

自分自身や他人の罪はわたしたちに押し寄せ、

狭いぬかるんだ道にわたしたちを追いやります。

しかしわたしたちは、主イエス・キリストによって、罪から解放され、自由に生きるよう広い野原に立たせていただいているのです。

天の父よ、

道であり真理であり命であるイエス・キリストという扉を通して、わたしを狭い家から、広い場へと導いてください。

主イエスの御名によって、アーメン。

第七日 1月2日(日)

「主よ、正しい訴えを聞き、わたしの叫びに耳を傾け、
祈りに耳を向けてください。わたしの唇に欺きはありません。

御前からわたしのために裁きを送り出し、
あなた御自身の目をもって公平に御覧ください。

あなたはわたしの心を調べ、夜なお尋ね、火をもってわたしを試されますが、汚れた思いは何ひとつ御覧にならないでしょう。

わたしの口は人の習いに従うことなく、あなたの唇の言葉を守ります。
暴力の道を避けてあなたの道をたどり、一步一步、揺らぐことなく進みます。あなたを呼び求めます、神よ、わたしに答えてください。

わたしに耳を向け、この訴えを聞いてください。慈しみの御業を示してください。あなたを避けどころとする人を、立ち向かう者から、右の御手をもって救ってください。

瞳のようにわたしを守り／あなたの翼の陰に隠してください。」(詩編 17:1-8)



○教会の祈り

天にいます我らの父よ、

御名が崇められますように。み国が来ますように。

み心が天に行われるとおおり、地にも行われますように！

新しい年も、この祈りにおいて我らをお守りください。我らが共に手を携えて、永遠なる「きょう」という恵みのときに、聖なるあなたとの交わりを見出し得るようにしてください。

そしてたとえ地上がどんなに悪きものと思われる時も、すべてのことにおいて常に自由であり、あなたがなされるすべてのよきことを日毎夜毎に感謝し得るようにしてください。主イエスの御名によって、アーメン。

メモ



洗足教会新年主日礼拝

2022年1月2日（日）午前10:30

教会学校と合同礼拝